

Ⅱ. 事業の概要

1 関西学院大学の教育研究の概要

入学試験の状況 (2021年度入学試験)

(単位:名)

	一般入試					各種入試				合計			
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	補欠合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
神学部	20	114	112	46	7	10	34	33	18	30	148	145	64
文学部	479	4,062	3,990	1,358	253	291	550	539	456	770	4,612	4,529	1,814
社会学部	400	2,922	2,877	946	174	250	565	556	374	650	3,487	3,433	1,320
法学部	415	2,973	2,900	1,036	262	265	546	505	454	680	3,519	3,405	1,490
経済学部	387	3,065	2,989	1,235	60	293	638	630	457	680	3,703	3,619	1,692
商学部	370	3,207	3,164	1,082	109	280	501	427	355	650	3,708	3,591	1,437
人間福祉学部	198	1,357	1,330	394	84	102	272	265	192	300	1,629	1,595	586
国際学部	135	1,428	1,404	237	16	165	486	457	278	300	1,914	1,861	515
教育学部	204	1,841	1,818	448	50	146	377	374	256	350	2,218	2,192	704
総合政策学部	285	2,163	2,120	697	217	210	547	531	332	495	2,710	2,651	1,029
理学部	113	2,584	2,541	813	223	67	136	132	105	180	2,720	2,673	918
工学部	166	3,544	3,463	859	209	99	290	288	180	265	3,834	3,751	1,039
生命環境学部	144	2,575	2,538	736	306	84	218	214	166	228	2,793	2,752	902
建築学部	80	1,782	1,747	323	264	52	72	71	59	132	1,854	1,818	382
合計	3,396	33,617	32,993	10,210	2,234	2,314	5,232	5,022	3,682	5,710	38,849	38,015	13,892

*一般入試: 全学日程・学部個別日程・関学独自方式日程・共通テスト試験利用
 *各種入試: 一般入試以外の入試
 *募集人員: 各種入試の若干名は含まない
 *補欠合格者数には追加合格者を含む

学位授与者数(卒業生数)

(単位:名)

	2020年度	累計
学士学位授与者数	5,903	234,423
修士学位授与者数	322	10,167
博士学位授与者数	28	1,142
専門職学位授与者数	137	3,030
合計	6,390	248,762

*1991年6月以前の大学(学部)卒業生数は、学士学位授与者数に含む

卒業後の進路状況(学部)

●就職率(2020年度)



●就職・大学院進学状況(推移)

(単位:名)

	進路	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
		就職	民間企業 4,008	3,909	4,152	4,563
就職	官公庁	267	278	266	284	332
	教員	214	225	198	185	207
	上記以外	26	24	23	37	58
	進学	自大学院	209	249	303	344
進学	他大学院	79	75	82	87	118
	その他	13	12	11	11	24
	その他	415	358	374	410	556
合計	5,231	5,130	5,409	5,921	5,903	

詳しくは右記のURLをご覧ください。 https://www.kwansei.ac.jp/c_cppo/index.html

国際交流の状況

●国際交流協定締結先機関(2021年3月)

国・地域名	アメリカ	カナダ	メキシコ	コロンビア	ブラジル	アイスランド	アイルランド	イギリス	オーストラリア	オランダ	クロアチア	スウェーデン	スロベニア	チェコ共和国	デンマーク	ドイツ	ノルウェー	フィンランド	ベルギー	ポーランド	ラトビア	ルーマニア	ロシア	インドネシア	韓国	カンボジア	シンガポール	タイ	中国	中国(香港)	中国(マカオ)	ネパール	バングラデシュ	東ティモール	フィリピン	ベトナム	マレーシア	モンゴル	インドネシア	オーストラリア	ニュージーランド	アジア全般	国連機関	日本	合計							
計	51	15	2	1	2	3	1	1	17	7	2	5	1	2	4	3	3	12	2	2	13	2	3	1	1	1	2	7	17	1	2	3	7	14	2	1	1	1	5	6	3	1	2	1	1	14	3	3	3	6	1	280

詳しくは右記のURLをご覧ください。 <https://ciec.kwansei.ac.jp/>

3つの方針(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)

関西学院大学では学部・研究科ごとに3つの方針を設定しております。

詳しくは右記のURLをご覧ください。 https://www.kwansei.ac.jp/university/university_019053.html

2 学生・生徒等の納付金 (2020年度)

● 関西学院大学

(単位：円)

学部等	入学年度	学年	授業料	入学金	実験実習費	教育充実費	合計
文系A	2020	1	723,000	200,000	*	182,000	1,105,000
文系B			891,000	200,000	*	218,000	1,309,000
文系C			976,000	200,000	*	235,000	1,411,000
文系D			852,000	200,000	23,000	209,000	1,284,000
総合政策			978,000	200,000	25,000	235,000	1,438,000
理工			1,102,000	200,000	106,000	266,000	1,674,000
文系A	2019	2	804,000	—	*	212,000	1,016,000
文系B			965,000	—	*	254,000	1,219,000
文系C			1,045,000	—	*	275,000	1,320,000
文系D			922,000	—	52,000	243,000	1,217,000
総合政策			1,047,000	—	*	275,000	1,322,000
理工			1,177,000	—	106,000	310,000	1,593,000
文系A	2018	3	804,000	—	*	212,000	1,016,000
文系B			965,000	—	*	254,000	1,219,000
文系C			1,045,000	—	*	275,000	1,320,000
文系D			804,000	—	35,000	212,000	1,051,000
総合政策			1,047,000	—	*	275,000	1,322,000
理工			1,177,000	—	106,000	310,000	1,593,000
文系A	2017	4	804,000	—	*	212,000	1,016,000
文系B			965,000	—	*	254,000	1,219,000
文系C			1,045,000	—	*	275,000	1,320,000
文系D			804,000	—	35,000	212,000	1,051,000
総合政策			1,047,000	—	*	275,000	1,322,000
理工			1,177,000	—	106,000	310,000	1,593,000

*文系A：神・文（総合心理科学科を除く）・社会・法・経済・商学部、文系B：人間福祉学部、
文系C：教育・国際学部、文系D：文学部総合心理科学科
*学部、学科、専修、履修プログラムによって別途実験実習費が必要

● 関西学院高等部・関西学院中学部・関西学院千里国際高等部・
関西学院千里国際中等部・関西学院初等部

(単位：円)

	入学年度	学年	授業料	入学金	教育充実費	教育資料費	冷暖房費	合計
関西学院高等部	2020	1	635,000	200,000	249,000	—	—	1,084,000
	2019	2	635,000	—	249,000	—	—	884,000
	2018	3	532,000	—	215,000	3,000	15,000	765,000
関西学院中学部	2020	1	635,000	200,000	249,000	—	—	1,084,000
	2019	2	635,000	—	249,000	—	—	884,000
	2018	3	532,000	—	215,000	3,000	15,000	765,000
関西学院千里国際高等部	2020	1	1,070,000	300,000	170,000	—	—	1,540,000
	2019	2	1,070,000	—	170,000	—	—	1,240,000
	2018	3	1,070,000	—	170,000	—	—	1,240,000
関西学院千里国際中等部	2020	1	1,070,000	300,000	170,000	—	—	1,540,000
	2019	2	1,070,000	—	170,000	—	—	1,240,000
	2018	3	1,070,000	—	170,000	—	—	1,240,000
関西学院初等部	2020	1	800,000	200,000	200,000	—	—	1,200,000
	2019	2	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000
	2018	3	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000
	2017	4	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000
	2016	5	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000
	2015	6	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000

*関西学院千里国際高等部・関西学院千里国際中等部は、第2外国語授業科目、
インターナショナルバカロレアディプロマプログラムを選択する者は、上記の他に別途必要

● 関西学院大阪インターナショナルスクール

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	合計
幼児部（短縮授業）	330,000	1,607,000	210,000	2,147,000
幼児部（平常授業）	330,000	1,796,000	235,000	2,361,000
小学部	330,000	1,796,000	235,000	2,361,000
中等部及び高等部1・2年	330,000	2,148,000	275,000	2,753,000
高等部3・4年	330,000	2,255,000	275,000	2,860,000
ポストグラジュエイト	330,000	2,255,000	275,000	2,860,000

*学年暦は8月開始

● 関西学院大学大学院 博士課程前期課程

(単位：円)

研究科	入学年度	学年	授業料	入学金	研究資料費	実験実習費	教育充実費	合計
文系A (神・文（総合心理科学専攻心理科学領域を除く）・ 社会・法・経済・商・言語コミュニケーション文化研究科)	2020	1	530,000	200,000	—	*	159,000	889,000
			635,000	200,000	—	*	191,000	1,026,000
			687,000	200,000	—	*	207,000	1,094,000
			607,000	200,000	—	52,000	182,000	1,041,000
総合政策			687,000	200,000	—	*	207,000	1,094,000
理工			715,000	200,000	—	87,000	208,000	1,210,000
文系A (神・文（総合心理科学専攻心理科学領域を除く）・ 社会・法・経済・商・言語コミュニケーション文化研究科)	2019	2	530,000	—	—	*	159,000	689,000
			635,000	—	—	*	191,000	826,000
			687,000	—	—	*	207,000	894,000
			607,000	—	—	52,000	182,000	841,000
総合政策			687,000	—	—	25,000	207,000	919,000
理工			715,000	—	—	87,000	208,000	1,010,000

*特定の授業科目等、履修プログラムによって別途実験実習費が必要

● 関西学院大学大学院 博士課程後期課程

(単位：円)

研究科	入学年度	学年	授業料	入学金	研究資料費	実験実習費	教育充実費	合計
全研究科	全	全	432,000	200,000	—	*	131,000	763,000

*社会学研究科で特定の授業科目を履修する者は実験実習費が必要

● 関西学院大学大学院 専門職学位課程

(単位：円)

研究科・専攻	入学年度	学年	授業料	入学金	研究資料費	実験実習費	教育充実費	合計	
司法	2020	1	1,055,000	200,000	—	—	225,000	1,480,000	
	2019	2	1,145,000	—	—	—	225,000	1,370,000	
	2018	3	1,120,000	—	25,000	—	225,000	1,370,000	
経営戦略	企業経営戦略コース	2020	1	770,000	200,000	—	—	225,000	1,195,000
		2019	2	770,000	—	—	—	225,000	995,000
	国際経営コース	2020	1	1,440,000	200,000	—	—	225,000	1,865,000
		2019	2	1,440,000	—	—	—	225,000	1,665,000
会計専門職	2020	1	1,140,000	200,000	—	—	225,000	1,565,000	
	2019	2	1,140,000	—	—	—	225,000	1,365,000	

● 聖和短期大学

(単位：円)

入学年度	学年	授業料	入学金	研究資料費	実験実習費	教育充実費	合計
2020	1	826,000	300,000	4,000	10,000	235,000	1,375,000
2019	2	938,000	—	4,000	8,000	275,000	1,225,000

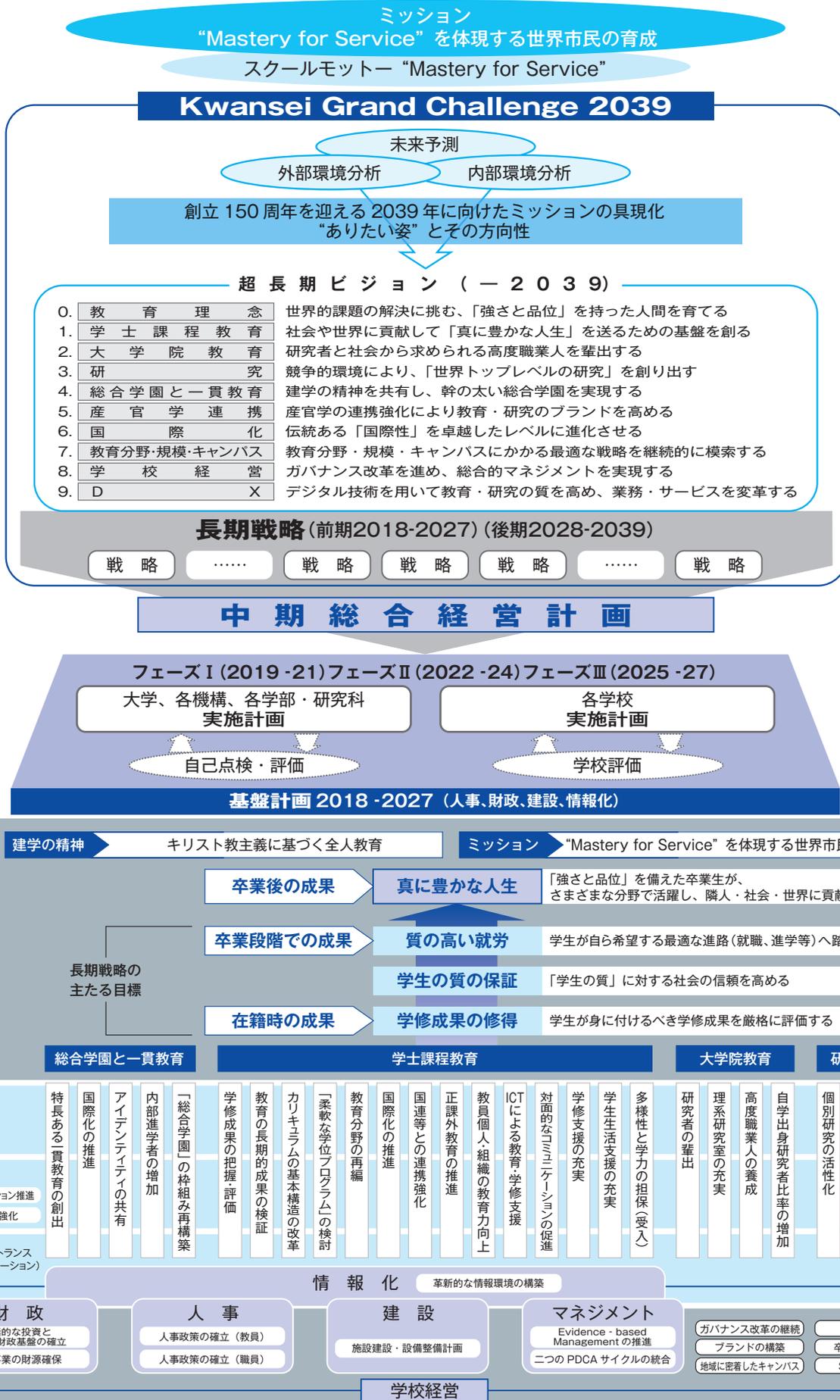
● 関西学院幼稚園

(単位：円)

	保育料	入園料	教育充実費	教材費	冷暖房費	合計
3歳児	336,000	100,000	50,000	24,000	8,000	518,000
4歳児	312,000	100,000	50,000	24,000	8,000	494,000
5歳児	312,000	100,000	50,000	24,000	8,000	494,000

3 中期的な計画及び事業の進捗状況

●全体像



● 2020年度の主たる事業計画

①教育研究関連事業

(単位：千円)

事業計画	概要	決算額
国際関連事業	<p>2020年度は、7年目を迎える文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」(SGU)に採択された本学の事業「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」を中心に展開しました。第2フェーズ(2017~2019年度)の達成状況を元に中間評価を受審し、前回と同様、A評価を獲得することができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延を受けて、国際的な移動が困難となる中、COIL(Collaboration Online International Learning)やVE(Virtual Exchange)と呼ばれるオンラインを活用した新しい国際交流プログラムを開発し、コロナ禍においてもより多くの学生が海外の大学生と密に交流できる機会を創出しました。</p> <p>①協定に基づく海外派遣学生数は2年連続、国内トップクラスの実績(学生の海外派遣2019年度実績) 2019年度は1,632人の学生を海外協定大学に派遣し、僅差で国内大学2位となりました。1位を獲得した2018年度に続き、国内トップクラスを誇る派遣数となりました。2020年度はコロナ禍で国際的な移動が困難な状況になりましたが、これまで培った協定大学との関係のもとにCOILやVEと呼ばれるオンラインを活用した新しい国際交流プログラムを開発し、コロナ禍においても協定大学を中心とした海外の大学生と密に交流する機会を創出しました。このようなオンラインプログラムについては、派遣再開後には対面とオンラインを併用したハイブリッド型化することを目指しています。他にもCross-Cultural Collegeや協定校で実施していた外国語研修等の多様なプログラムをオンライン化した結果、コロナ禍においても約300名の学生が国際教育プログラムに参加することができました。2021年度に向けてはSGU推進費を各学部割り当てることで、オンラインによる海外学生との共修を重視したプログラムのさらなる拡充を目指します。</p> <p>②コロナ禍による入国制限で短中期の学生受入が難航する中、オンラインプログラムへの変更に着手 外国人留学生の受入についてもコロナ禍による入国制限を受けて、短期プログラムや交換学生の受入を中止しました。そのような状況下でも、Summer Schoolで関係を構築した米国・トリニティ大学とのCOIL科目や、日本語短期プログラムのオンライン化などにより海外の学生と関学生が共修・交流できる機会を確保しました。また、2021年9月に開寮する国際教育寮(有光寮)で実施する共修や融合機会創出のためのプログラム検討を進めました。</p> <p>③大学院「国連・外交コース」第3期修了生輩出、国連・外交一貫教育スキームの具現化 2020年度は大学院(修士レベル)「国連・外交コース」から第3期生を5人輩出しました。修了生らは同コース所定の課程(すべて英語で授業)から23単位を修得し、国際機関でのインターンシップ等を通じて国際機関職員等に求められる実践的能力を身に付けました。 また、2020年4月には、院内の高校を卒業し学部副専攻「国連・外交プログラム」を履修後、早期卒業で2名が大学院「国連・外交コース」に進学し、総合学園として私学の特長を活かした高校~大学~大学院のロングレンジでの人材育成が実現しつつあります。</p> <p>④英語教育の充実 2020年度は質の高い国際化の基盤として、英語教育を引き続き強化しました。2017年度から強化している習熟度別教育のほか、留学に必要な外部試験のスコア対策プログラム等の充実、英語学習のe-learningアカウントの無償提供の決定(2021年度利用開始)など、一層の充実をはかりました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際化の推進 ・国連・国際機関との連携強化 ・学生生活支援の充実(寮) 	620,976

<p>就職支援・キャリア教育 関連事業</p>	<p>2020年度は、新型コロナウイルス感染症により、企業の採用活動の中止、採用数の抑制など学生(大学4年生・大学院博士前期課程2年生)の就職活動に大きな影響がありました。特に4月~5月の緊急事態宣言による採用・選考活動の中断は、学生の進路決定の遅れにつながり、年間を通じて就職決定状況が前年度を下回りました。そうした状況下でも円滑な就職活動に繋がるよう、個人面談や学内企業セミナー(参加企業数190社、参加学生数1,996人)をオンラインで実施するとともに、進路調査に基づいた求人紹介等を行うことで最終的には前年度並みの就職決定状況となりました。</p> <p>大学3年生・大学院博士前期課程1年生対象のキャリア・就職支援は、コロナ禍のため2か月遅れてのスタートとなりましたが、キャリアガイダンスをオンラインで開催(2,849名参加)し、業界企業研究やインターンシップなど就職支援の動画コンテンツ(KGキャリアチャンネル)も48本配信しました。学生に寄り添い、不安や悩みに丁寧に応える個人面談は対面とオンラインを併用し、年間で25,551件(前年度比5,912件増加)にのびりました。特に緊急事態宣言下に臨時対応した電話相談(7,452件)が大きな増加要因となりました。</p> <p>コロナ禍においても適宜オンライン化を進めることで支援レベルを落とすことなく、高い就職実績を維持しています。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「質の高い就労」の実現 	<p>137,732</p>
<p>学部教育改革 関連事業</p>	<p>本学では「学生の質の保証」を目標に掲げており、すべての学生が卒業段階で学部の区別なく共通で身に付けておくべき知識・能力・資質「Kwansei コンピテンシー」を定めています。2020年度は、全学部のDP(ディプロマ・ポリシー)に「Kwansei コンピテンシーの修得」を追加しました。</p> <p>2019年度に引き続き、文理を問わず AI・データサイエンス関連の知識を持ち、その知識を活用して現実の諸問題を解決できる能力を有する人材の育成を行う「AI 活用人材育成科目」を拡充し、2020年度は「AI 活用発展演習」等9科目を開講しました。その一方で、「AI 活用入門」等履修を希望しても抽選で外れる多くの学生に対応して、完全 e-learning 化したバーチャルラーニング版を開発し、2021年度より提供すべくカリキュラム改正を行いました。また、「学校(ホーム)を出て、実社会(アウェイ)を経験する」ハンズオン・ラーニング(実践型学習)科目を提供し、学生が企業や地域等との実践的な学びを通じて、主体的な学修者として成長できる機会を設けています。コロナ禍でも21科目78クラスを開講し、約2400名の履修がありました。主な取り組みとしては、提示されたプロジェクト(PJ)を実施するハンズオン・インターンシップを、地域・企業を深く理解し目指すべき姿を共に考える(自らPJ化する)内容にフルモデルチェンジするなどブラッシュアップし、また2021年度に向けては、学部や専門の異なるチーム(3人)を編成し、テーマ設定から、計画書の作成、“現場”での活動までの全プロセスに関わる「ハンズオン・アドバンスト」、大阪城と天王寺に近接する教育と歴史豊かな上本町をフィールドとする「社会探究実践演習(大阪・上本町)」を新設しました。</p> <p>法学部では、2021年度より現在のコース制を、到達目標別に特修、司法・ビジネス、公共政策、グローバル法政、法政社会歴史の5つのコースに改編し、各学生が自身の興味・関心、将来像に沿って効果的に学ぶ環境を整備しました。特に、選抜制の「特修コース」では、従来の「司法特修コース」の機能に「企業法務分野」および「公務分野」の養成機能を付加し、「企業法務特修実践演習」や「公務特修実践演習」など10科目を新設して、実務家講師によるケーススタディ等による実践的対応力の修得を目指します。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの基本構造の改革 ・学修支援の充実 ・学部教育改革施策の立案(学生規模) 	<p>181,850</p>

<p>教育再編 (神戸三田キャンパス) 関連事業</p>	<p>2021年4月に神戸三田キャンパス(KSC)の学部を再編し、理系4学部(理学部・工学部・生命環境学部・建築学部)を新設します。これによりKSCは総合政策学部と新設4学部を合わせた5学部体制へと変わります。また、KSC コンセプト「Be a Borderless Innovator」を定めて、国境、文系理系、学問分野、大学と社会等さまざまな境界を飛び越える人材を育てます。</p> <p>KSCにおける教育研究の4つの特長は、①文理の研究力を結集した“Sustainable Energy”の一大研究拠点の形成、②世界各地で各国・地域の学生とともに社会的課題の解決に取り組む海外学修・国際プログラムの拡充、③文理・分野の壁を越えた学びで複眼的な視野を養う分野横断型の教育システムを確立、④新たなビジネスの創造に挑戦する起業家を育むアントレプレナー育成プログラムの創設です。</p> <p>また、豊かな自然に恵まれたキャンパスの中で、テントや焚火のそばで学生同士が学び合う新しい学修の場「Camping Campus」をスノーピーク社との包括連携協定により実現しました。学生らにKSC オリジナルボトルを配布することで、ペットボトル消費量3万本削減をめざすなど、“Sustainable Campus”としての教育研究環境整備を進めています。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育分野の再編 ・SDGsの推進(KSC 分野) 	139,090
<p>正課外教育の推進</p>	<p>2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、課外活動における感染対策対応を最優先としたため、計画通りに動くことが非常に困難な1年でした。そのような中でも、「Academic Eligibility」に伴って導入した学生アスリート向けの修学支援プログラムを拡充することにより、勉強面でのサポートを強化しました。また、学生の自主性を尊重しつつ、従来の課外活動を大学教育の一環として「正課外教育」と位置づけ直し、大学の下に学生スポーツ活動を統括する組織である「競技スポーツ局(KGAD)」を2021年4月から創設します。競技スポーツ活動による正課外教育を通じて、Kwansei コンピテンシーに掲げる知識・能力・資質を修得させ、キリスト教主義に基づく全人教育による「“Mastery for Service”を体現する世界市民」の育成をめざし、2020年度は規程などの制度整備を行いました。さらに、対外的にも本学の正課外教育を発信し、本学への帰属意識を高めるための試みとして、競技スポーツ局独自のホームページを作成しました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正課外教育の推進 	163,962
<p>情報環境整備・運用 及び情報教育関連経費</p>	<p>ICTやAIを最大限活用し、学生の学びをより効果的に成果へと結びつける環境整備に継続して取り組んでいます。</p> <p>教育の質を保証するためのツールである「ポートフォリオ」を活用することにより、学習記録や成果の可視化を行い、学生の「振り返り」を促進しました。また、認証システムやメール、ファイルサーバー等の共通システムをリプレースし、セキュリティの強化や学術コミュニケーションの活性化、利便性の向上を図りました。さらに、学生・教職員を対象とした新たなポータルサイトの2021年夏稼働を目指し、構築に着手しました。お知らせ情報の一元化から、デジタル化、WEBによる各種申請などが可能となるポータルサイトを構築し、他システムとの連携による利用者の利便性向上、教育活動の活性化を促進します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応としてオンライン授業を実施するため、Web 会議システムの学生・生徒・教職員用アカウントを取得し、授業配信用ファイルサーバーとネットワーク回線を増強しました。さらに、デバイスを持たない学生でもオンライン授業を受講できるようにPCとWiFi ルータを配備し、無償貸与しました。また、オンライン授業における学生・教職員のサポートのため、各種問い合わせに対応する体制も強化しました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTによる教育・学修支援 ・革新的な情報環境の構築 	1,548,847

<p>支給(給付制)奨学金 関連経費</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により、学費を負担する保証人の家計状況が急変するなど経済的に困窮した学生に対して「一人の退学者も出さない」という趣旨のもと緊急経済支援として「特別支給2020奨学金」を設立し、2020年5月より2021年1月まで5回にわたり募集・選考を行い、848名の学生に支援しました。</p> <p>また、コロナ禍によって本人のアルバイト収入などが減少し、学生生活が困難な状況に陥った学生の援助を目的として関学ヘックス (HECS) 型貸与奨学金を設け、計5回の募集を行い221名の学生に支援しました。この奨学金は卒業後に返還を求めますが、一定の収入に達するまで、手続により返還を猶予することとしています。</p> <p>他にも、従来どおりキリスト教主義による相互扶助の精神のもと、経済的理由で入学を躊躇する学生のため、受験前に採用候補者となる「ランバス支給奨学金」、学力・人物ともに優秀で学資の援助を必要とする学生を支援する「就学奨励奨学金」「経済支援奨学金」、学業成績優秀者の勉学支援を目的とした「産学合同育英奨学金」「ベーツ特別支給奨学金」、文化・芸術・スポーツ・社会貢献活動等で活躍した学生を称える「クレセント奨学金」「奨励奨学金」、災害等による家計急変者を対象とした「特別支給奨学金」「後援会奨学金」など、多彩な支給奨学金を設け、経済的な支援にあたっています。また、国による高等教育の修学支援新制度も開始され、本学も対象機関となっています。</p> <p>海外へ留学する学生には、各種留学プログラムへ積極的に参加できるよう「交換留学奨学金」「中期留学奨学金」「ダブルディグリー留学奨学金」「短期留学奨学金」「井谷憲次奨学金」等に加え、大学院副専攻「国連・外交コース」履修者を対象とした「国連・外交インターンシップ奨学金」を支給しました。さらにコロナ禍による海外との往来の停止を受け、海外協定大学等と連携したオンラインでの国際教育を促進するため、既存の「短期留学奨学金」「井谷憲次奨学金」を改正しオンライン国際教育プログラムの参加者も支給対象としました。また、優秀な外国人留学生を受け入れるための「外国人留学生奨学金」等を支給し、国際化を推進しました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生生活支援の充実(奨学金) 	<p>1,890,649</p>
<p>研究活性化事業</p>	<p>企業や公共機関などとの受託・共同研究を推進することにより、本学の研究の活性化を図り、その研究成果を社会に還元することで大学の社会的使命を果たしています。2020年度は27件の受託研究と73件の学外共同研究を実施しました。</p> <p>本学教員が先端的研究に取り組み、知の創造や社会への貢献によって大学全体の研究力が高められるよう環境整備を進めています。その一環として、新たに設置した「研究創発センター」にURA(University Research Administrator)を配置して、研究に関する情報収集、研究力分析、戦略検討・立案や産学連携及び補助金申請の支援等を行いました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別研究の活性化 ・研究ブランドの確立 	<p>1,023,753</p>
<p>図書関連費用</p>	<p>教育研究、学習活動において必要とされる図書・資料や電子資料の整備・充実を図り、教育・研究の発展に寄与しました。大学図書館の登録図書冊数は2020年度末時点で約244万冊となりました。</p>	<p>934,793</p>

②教育研究環境を支える施設設備の整備・充実

(単位：千円)

事業計画	概要	決算額
西宮上ヶ原キャンパス 整備工事	西宮上ヶ原キャンパスの教育研究環境の機能性・利便性向上やアメニティの向上を目的として、新棟建設や建物改修、経年劣化した建物の建て替え等、大規模なキャンパス整備工事を年次計画で実施しています。2020年度は西宮上ヶ原キャンパスに、文学部総合心理科学科の実験実習諸施設や様々な研究プロジェクトに使用するための研究室を擁する新棟(1号館)を建設し、供用を開始しました。また、2021年度に教員の研究室棟を移築するため、外国人住宅7~9号館の取り壊し等の準備工事を実施しました。 ※当初予算に91,905千円を追加で充当しました。	1,148,908
神戸三田キャンパス 整備工事	2021年4月に神戸三田キャンパスの学部を再編し、理系4学部(理学部、工学部、生命環境学部、建築学部)を新設しました。これにより、神戸三田キャンパスは総合政策学部と新設4学部を合わせた5学部体制となり、現在整備を進めています。2020年度は設計スタジオ、研究室、VI号館事務室、駐輪場等の整備のほか、新棟(2022年9月供用開始予定)の基本設計を実施しました。	237,217
千里国際キャンパス 整備工事	千里国際キャンパスの施設設備を整備しています。2020年度はグラウンドにバスケットボールコート、陸上競技用の砂場、ロゴを新設しました。当初予定していた図書館、正面玄関周辺、階段部の改修工事は、新型コロナウイルス感染症の影響により2021年度に延期しました。	21,657
国際教育寮建設工事	増加する留学生の住居を確保するため、西宮聖和キャンパス周辺の清風寮隣地に日本人学生と留学生が共同生活を送る混住型国際教育寮(有光寮)を建設しています。(2021年9月供用開始予定、総事業費10億6千万円)	97,000
A V 設備更新工事	大学のAV設備環境向上のため、講義室に配備しているプロジェクター・スクリーン等のAV設備機器を順次更新しています。2020年度は西宮上ヶ原キャンパス21教室、神戸三田キャンパス2教室の設備を更新しました。	108,103
教室改修工事	大学の講義室・演習室でのアクティブラーニングを推進するため、毎年10教室程度を対象に、授業内容に応じて柔軟にレイアウト変更ができるように、可動式の机・イス・ホワイトボードを設置する等の教室改修を実施しています。2020年度は西宮上ヶ原キャンパスの12教室を改修しました。	39,603
ライティングセンター 設置工事	大学生・大学院生の学術的な文章作成能力の修得を支援するため、2021年度にライティングセンターを開設しました。2020年度は開設準備として、大学図書館地下1階に対面指導用の施設設備を整備しました。	9,438
グラウンド整備工事	グラウンド使用時の安全確保のため、人工芝張替など定期的にグラウンドを整備しています。2020年度は西宮上ヶ原キャンパス第1フィールドのテニスコート2面に人工芝を敷設しました。また、千里国際キャンパスグラウンドの人工芝全面張替工事を実施しました。	98,481
体育館空調設備 設置工事	近年は夏季の気温上昇が著しく、体育館で行う授業や課外活動等における熱中症のリスクを軽減するため、各体育館に空調設備を順次設置しています。2020年度は中学部体育館及び高等部体育館に空調設備を設置しました。	55,528
ネットワークインフラ 整備工事	ネットワーク環境の維持と機能強化のため、ネットワークインフラの整備工事を実施しました。ネットワーク環境の安全性を高めるとともに、無線LANを含むネットワーク機器及び回線の増強等により通信量の増加に対応し、利便性の向上を図りました。	322,784
大規模設備更新・改修 工事	各建物に設置している熱源・空調設備、監視システム等の大規模設備が故障した場合、教育研究に与える支障は大きく、安全性確保の観点からも問題があるため、計画的に更新・改修工事を実施しています。2020年度は西宮上ヶ原キャンパスの受水槽更新工事、高等部の空調電源改修工事及び神戸三田キャンパスIV号館の空調更新工事(4年計画の3年目)等を実施しました。	583,431

トイレ環境整備工事	年次計画で経年劣化したトイレの床・壁面の張替、照明更新、荷物置き用面台新設等の美装及び設備充実を進めています。2020年度は西宮上ヶ原キャンパス法学部、西宮聖和キャンパス6号館、神戸三田キャンパスI号館、IV号館別館のトイレを改修しました。	199,980
空調設備更新工事	年次計画で経年劣化した空調設備を更新し、省エネ化を図っています。2020年度は西宮上ヶ原キャンパス法学部、第一教授研究館新館（4階）の空調設備を更新しました。当初予定していたF号館は、新型コロナウイルス感染症の影響により2021年度に延期しました。	20,449
照明器具改修工事	年次計画で照明器具をLED化し、廊下や階段等に人感センサーを設置することにより省エネ化を図っています。2020年度は西宮上ヶ原キャンパス神学部、文学部、経済学部、商学部、第4別館、男子寮及び西宮聖和キャンパス大学図書館分室の照明器具を改修しました。当初予定していたF号館は、新型コロナウイルス感染症の影響により2021年度に延期しました。	79,462